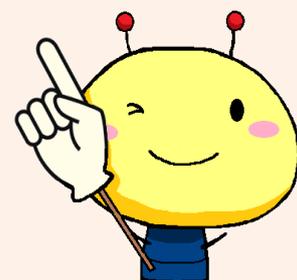




閉館中の作業その②

蔵書点検・書架整備・資料修理

実施期間：2018年3月12日（月）～31日（日）



「閉館作業中その②」として、主に夏の閉館中に行っている「蔵書点検・書架整備・資料修理」についてご紹介します。

蔵書点検とは、図書館の蔵書の中で無くなっている物がないかを確認する、年に一度の作業になります。本学の蔵書は16万5千点あまりになり、その資料のひとつひとつに貼っているバーコードをスタッフが読み取っていきます。作業期間は2週間を要します。書架整備は常に行っていますが、すべての資料を対象に行う大規模なものは3月に行います。書架整備の期間は1.5週間かかります。資料の修理は壊れている資料や摩耗している資料を、これからの利用に耐えられるよう、補強する作業です。4月から、みなさんに気持ちよく利用していただくための作業になります。蔵書点検・書架整備・資料修理は閉館しないとできない作業ですが、図書館にとってはとても重要な作業になり、これからも毎年実施していきます。3月は3週間の閉館になりますが、学生・教職員のみなさまのご理解・ご協力をお願いします。